

浅間の神出で来まし諸共に五穀豊穰祈るしあわせ

逆井富士浅間神社例大祭

おみこしは、車に乗せて出発した。
きれいに飾った屋台のついた車からは、横
笛や小太鼓が、聞きなれた逆井ばやしを流
し、先導する。四年に一度になった、最初の
逆井富士浅間神社の例大祭だ。

逆井八ヶ所の地区では、それぞれ「馳走
を並べ、みんな集まって待っている。到着！
おみこしは下ろされ、ワッショイ、ワッショイ
と担ぎ上げる。逆井ばやしにぎやかに、
おかめ、ひよつとこなど悠長に踊り、キツネ
が走り回る。五穀豊饒への祈りが込められ
ている。

4年ぶりのワッショイ

七月十五日の朝、市長、衆院議員、県議
市議、各町会の会長が招かれ、神主さんによ
る渡御（とぎよ）斉行が行われた。ご祭神
のおでました。コノハナサクヤヒメが真夏の
逆井の空を飛んでこられた、と思う。

渡御斉行の神事が終わると、直会（なおら
い）、宴会である。逆井ばやしの師匠と弟子
の競演が始まる。師匠は逆井村に連綿と伝
えられてきた村人の余裕ある踊り。弟子は
逆井中学校の生徒たち。鉦1、横笛7、大
太鼓1、小太鼓2が鎮守の森に流れる。

①最初は柏陵高校行きのバス
終点の近く。おみこしは下ろさ
れワッショイ。④逆井中学校の
生徒の息が合う。左がべろだし、
右が大笑い⑦伝統の本職の芸。
珍しく小1というちびっ子もかわ
い所作を見せてくれた。

末広クラブ・逆井漫步177 平成25年7月